

2025年度 自己点検・自己評価

1. 学校の教育目標

- 1) 人々の生命と個々の人格を尊重し、豊かな人間性を備えている。
- 2) 看護の対象を身体的・精神的・社会的に統合された存在として理解している。
- 3) 人々の健康と生活を、自然・社会環境とのダイナミックな相互作用の観点から理解している。
- 4) 人々の多様な価値観を尊重し、専門職業人としての倫理観に基づいた行動をとる。
- 5) 健康や障害の状態に応じ、科学的根拠に基づいた看護を実践するための基礎的能力をもつ。
- 6) 保健・医療・福祉制度と他職種の役割を理解し、チーム医療を実践するための基礎的能力をもつ。
- 7) 看護実践者として国際的視野をもち、医療の最新知識・技術を自ら学び続ける姿勢をもつ。

2. 2025年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

1) 質の高い人材の確保と育成

(1) 推薦・一般入学試験受験者の確保

- ① 高等学校との連携強化と広報活動の推進(県内・県外)
- ② 高等学校への訪問と適切な在校生情報の提供
- ③ 保護者に向けた情報発信
- ④ ホームページ等(動画・SNS)での情報発信とオープンスクール開催の工夫

(2) 国立病院機構及び社会に貢献できる看護実践者の育成

- ① 国立病院機構病院および県内への就職推進・自己にあったキャリア形成
- ② 看護師国家試験の合格率100%を目指す(国家試験対策の構築)
- ③ 実習病院との連携強化(実習指導者研修会の実施)
- ④ 学生一人一人の成長・課題に合わせたきめの細かいタイムリーな指導
- ⑤ 中間・年度末に満足度調査を行い、適時フィードバックし学生満足度の向上を図る

2) 質の高い教育の向上

(1) 心理的安全性を高める

- ① 学生の声に耳を傾け、学生が話しやすい雰囲気づくりに努める
- ② 教員間のアサーティブで建設的な意見交換

(2) 学習・実習環境の充実

- ① カリキュラム評価の実施
- ② 授業および実習評価の活用と向上(アクティブラーニングの評価:講義・演習・実習)
- ③ 学生による卒業時カリキュラム評価(3.4以上)
- ④ 実習指導方法の検討(学生の思考・行動の評価)

3) 看護教員の教育力・マネジメント能力の向上

(1) 看護教員の積極的な能力開発への取り組み

- ① 授業案の検討(講義・演習・実習のつながり)
- ② 研究授業の促進(校内・校外)
- ③ 研究活動の促進(研究発表昨年度以上)
- ④ 看護管理実務研修(臨床管理研修5日以上、2人以上)
- ⑤ 看護教員能力開発プログラム(TNAD)による教員個々のキャリア育成
- ⑥ 教員インターンシップの開催

- 4) 学生が主体的に考え、判断し、行動できる基礎的能力の育成
- (1) 社会人基礎力の育成
- ① 学生に役割を付与し、履行できるように支援する
 - ② 1年次から毎年自己評価(自己の成長を確認)
- (2) 豊かな人間性と高い倫理観の育成
- ① 学生が自ら考え、感じ、発言および行動できるように支援する
講義・演習・実習・学生生活
 - ② 倫理的視点に基づいた学生指導(倫理観の醸成)
- 5) 将来を見据えた学校の在り方と組織の活性化・効率化
- (1) 附属養成所の運営の在り方を検討
- ① 学校運営状況の評価 学生の確保と学校の存続について
- (2) 業務の効率化と健全な勤務環境の改善
- ① 教員・教務助手・事務助手の業務の効率化のための調整
 - ② 計画的な業務の遂行
 - ③ ワークライフバランスの推進

評価(4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切)

I. 教育理念・目標	
1. 理念・目的・育成人材像は定められているか(専門分野の特徴が明確になっているか)	4
2. 学校における職業教育の特色は何か	4
3. 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
4. 学校の理念・目的・人材育成像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4
5. 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4
平均	4.0

II 学校運営	
1. 目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
2. 事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4
3. 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
4. 人事・給与に関する制度は整備されているか	4
5. 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4

6. 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
7. 教育活動等に関する情報公開が適正にされているか	4
8. 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4
平均	4.0

Ⅲ 教育活動	
1. 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
2. 教育理念、人材育成像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
3. 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
4. キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
5. 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
6. 関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4
7. 授業評価の実施・評価体制はあるか	4
8. 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
9. 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
10. 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での位置づけはあるか	4
11. 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4
12. 関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務を含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	4
13. 関係分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4
14. 職員の能力開発のための研修等が行われているか	4
15. 教員の研究活動を保障(時間的・財政的・環境的)しているか	3
16. 教員の研究活動を助言・検討する体制を整えているか	4
平均	3.9

Ⅳ 学修成果	
1. 就職率の向上が図られているか	4
2. 資格取得率の向上が図られているか	4
3. 退学率の低減が図られているか	3
4. 卒業生・在校生の社会的な活躍および評価を把握しているか	4
5. 卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用されているか	4
平均	3.8

Ⅴ 学生支援	
1. 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
2. 学生相談体系的に関する体制は整備されているか	4
3. 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
4. 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
5. 課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
6. 学生の生活環境の支援は行われているか	4
7. 保護者と適切に連携しているか	4
8. 卒業生への支援体制はあるか	4
9. 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
10. 高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか	4
平均	4.0

Ⅵ 教育環境	
1. 施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
2. 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
3. 防災に対する体制は整備されているか	4
平均	4.0

Ⅶ 学生の受け入れ募集	
1. 学生募集活動は、適正に行われているか	4
2. 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
3. 学納金は妥当なものとなっているか	4
平均	4.0

Ⅷ 財務	
1. 中長期的に学校の財政基盤は安定しているといえるか	4
2. 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
3. 財政について会計監査が適正に行われているか	4
4. 財務情報公開の体制整備はできているか	4
平均	4.0

Ⅸ 法令等の遵守	
1. 法令・専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
2. 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
3. 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4
4. 自己評価結果を公開しているか	4
5. 学生や保護者が自由に意見を言える体制が整備されているか	4
平均	4.0

X 社会貢献・地域貢献	
1. 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3
2. 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
3. 地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	4
平均	3.6

XI 国際交流（必要性に応じて）	
1. 留学生の受け入れ・派遣について戦略を持って行っているか	3
2. 留学生の受け入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	3
3. 留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	2
4. 学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	2
平均	2.5

令和7年度 自己点検・自己評価 学校間評価 総評

日時：令和8年3月13日（金） 10:00～15:00

評価校：栃木医療センター附属看護学校

被評価校：高崎総合医療センター附属高崎看護学校

1. 質の高い人材の確保と育成

貴校の教育目標に基づき、質の高い人材確保のために推薦指定校の見直しを綿密に行い、更に県内及び近接する県の高等学校との情報交換により受験生を確保されています。18歳人口が減少する中で学生確保には苦慮するところではありますが、その都度問題を見極めながら新たな取り組みをされることを期待します。

2. 質の高い教育の向上

学生の教育については、講義・実習の知識や技術の習得のみならず、学生の社会人基礎力や倫理観の育成に重点をおき、看護師として必要な力の育成を視野に教育活動を行っていることは高く評価します。

また、学生の心理的安全性の確保は、学校生活において最も基本となる対応であるので、すべての教職員が学校づくりの基本であることを念頭に継続されることを期待します。

3. 就職支援について

貴校の卒業生は、例年県内国立病院機構、県外国立病院機構への就職率が高く、理念に基づいた支援が行われていることが評価できます。今後も母体病院を含め他のNHO病院とも実習等や就職説明会での連携を深め、支援をしていただきたいと思います。

4. 今後への期待

1) 県内の看護師需給状況および高校からの進学状況を踏まえ、入試形態を柔軟に検討し、質の高い学生確保を期待します。

2) 学生の生活体験の変容などもあり、教育現場も工夫をしながら看護師として巣立てるよう支援していますが、保護者との連携も更に必要となってきました。入学時に行われている保護者会を各学年でも行い、学校生活や国家試験対策などの協力を得るような方略を期待します。